

タマヤがレンタルPCとして マウスを採用

ビジネスでも求められる高性能PC

タマヤは法人向けのレンタル用PCとして、マウスコンピューターのグラフィックボードを搭載した高性能PCやゲーミングPCの導入数を増やしている。

商品の選定や購入のしやすさ、納期などが他社よりも優れており、問い合わせへのレスポンスも速いのが採用の理由だ。

需要が増えているPCレンタル市場で事業拡大を狙う。



福井県越前市に本社を置くタマヤは、Webサービス「e-TAMAYA」でICT機器のレンタル事業を展開している。中心となるのが、法人向けのPCやタブレットPCだ。

用途は、短期間のイベントやPCを使ったCBT試験での利用、新入社員研修、プログラミング研修など様々だ。ソフトウェア開発のために業務用途で長期間レンタルするケースもある。

タマヤはレンタル用PCとしてマウスコンピューターの製品を増やしている。両社の付き合いが始まったのは2017年頃だ。タマヤがイベント用途に使うPCのラインアップを広げるために、マウスコンピューターのゲーミングPCを採用したことがきっかけだった。いくつかのモデルをレンタル事業に導入し、18年頃にはマウスの営業担当者が直接タマヤに提案するようになった。

他社よりマウスが優れている3つのポイント

タマヤ レンタルグループ ネット営業チーム リーダーの松田哲平氏は「モデルを選定する際に、マウスコンピューターの担当者に相談をしたところ、質問に対するレスポンスがとても速いことに驚きました。商品や技術に対する知識も豊富で、商品選定に際して的確な助言をくれたのも助かりました」と話す。

レンタル用にゲーミングPCを探していたのは、グラフィックスやCPUの性能が高いためだ。例えば、オンライン表彰式で使いたいと依頼してきた企業から、遠隔の受賞者の様子をライブ配信したいという要望が出た。通常の法人用PCでは、CPUやメモリー、グラフィックボードなどの性能が足りず、こうした用途には対応できない。ゲーミングPCであれば、負荷の高い用途にも安心して使える。

多くのPCメーカーの中からマウスコンピューターを選定した理由については、「3つの点でマウスコンピューターが優れていたことが決め手になりました」と松田氏は言う。

1点目は、マウスコンピューターにゲーミングPCや高性能PCで抜群のブランド力があったことだ。知名度が高いため、レンタル用途のラインアップとしてふさわしく、顧客も安心して使えると考えた。

2点目は、ソフトウェア開発や動画制作などの用途に特化したクリエイティブPCのラインアップが充実していたことだった。あるメーカーはゲーミングPCの品ぞろえは豊富だが、他の用途で利用できるパソコンは多くなかった。マウスコンピューターには様々な用途のパソコンがそろっていた。

3点目は、マウスコンピューターは発注を受けてから製品を生産するBTO(Build To Order)方式のため商品のカスタマイズがしやすく、購入するまでの相談もしやすかったことだ。

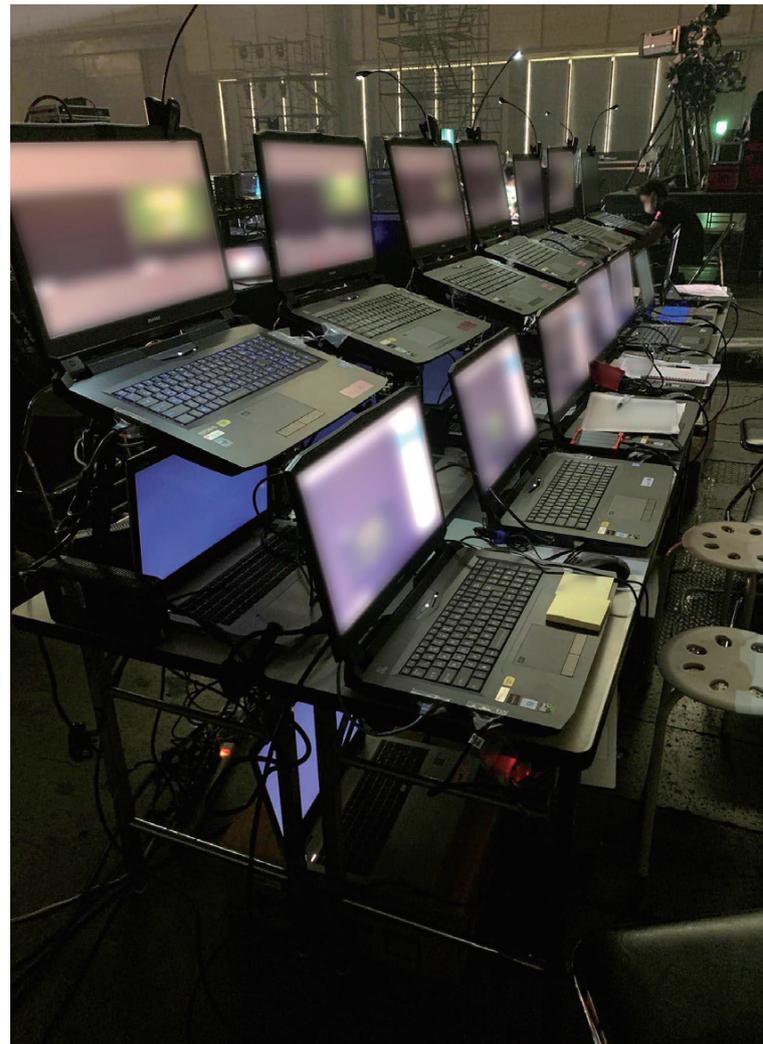
購入後のレスポンスやサポートが的確なことを評価

レンタル用PCの仕入れを担当するタマヤ マーケティング&デザイングループ Web戦略課 リーダーの小林勝平氏は「マウスコンピューターは商品ページが分かりやすく注文しやすいなど、購入する立場として利用しやすいですね」と話す。

他社と比較して、目的に合った商品をすぐに見つけられる。また、商品ページですぐにBTOのカスタマイズができて、仕様書も印刷でき、見積もりを依頼できるなど、購入に関する一連の作業がスムーズにできることが魅力だという。

海外メーカーのゲーミングPCを注文しようとしたときもあったが、そのときは納期に時間がかかって断念したという。国内生産のマウスコンピューターの場合は、「注文後も納期がいつになるかなど気になる情報を可能な限り提供してくれて、問い合わせに対するレスポンスが速い。ストレスを感じませんし、安心できますね」と小林氏は笑顔で語った。

マウスコンピューターはハイスペックPCやゲーミングPCであっても本体のデザインがシンプルで、ビジネスでも利用しやすい。他社のゲーミングPCは個人ユーザー向



株式会社シー・エヌ・エスが音楽LIVEのオンライン演出のためにゲーミングPCをレンタルしたときの様子。イベントプロデュースを手掛けるシー・エヌ・エスは、企画に応じてレンタルPCを活用。オフラインのイベントでの体験と変わらない価値を参加者に提供するために、アイデアを駆使したオンラインイベントのプロデュースで強みを発揮する。他にも、オンラインアワードで全国の受賞者200名を登場させるためにPC300台を使用するなど、参加型の企画を実現している

けに凝ったデザインが多く、性能面で優れていても法人向けレンタルでは使いにくいという。

タマヤでは2017年以降、マウスコンピューターのPCの導入数を増やしていき、現在ゲーミングPCとして扱っているWindowsパソコンはマウスコンピューターの製品だけだ。すでにマウスコンピューターの幅広いモデルをレンタル用PCとしてラインアップしているが、高性能ゲーミングデスクトップPCの「G-Tune XP-Z」や、高性能グラフィックスを搭載したノートPCの「DAIV 7N」や「DAIV 5N」も導入している。



「マウスコンピューターは、製品ラインアップの豊富さが魅力ですね。カスタマイズのオーダーも容易ですし、営業担当者の対応も信頼できます」と語る松田氏

マウスコンピューターは導入後のサポートも的確だ。PCのレンタルは輸送が多く、PCの負担が大きい中で起きた不具合にも、解決方法をさぐりスピーディーに対応してくれて安心したという。

これからも企業のPCレンタル需要は増えていく

パソコンは日進月歩で新しくなり、性能も向上していく。松田氏は「PCを購入して所有するだけでなく、レンタルして利用する企業が増えてくるだろう」と考えている。

例えば、社内のネットワークに接続しているPCを社外に持ち出して使おうとすると、セキュリティ上の理由か



「マウスコンピューターは国内生産のため、納期に関する不安が少ないですし、法人に対して対応力がある」と語る小林氏



「マウスコンピューターのWebサイトは、モデルの選定から見積もり、注文までのフローをよく理解して設計されています」と語る小林氏（左）

ら複雑な手続きが必要になる企業は多い。そこで、データはオンラインストレージを利用するなどし、イベントや研修の場ではレンタルPCを利用するというように、企業のPCの使い方も変わっていくのではないかとこのだ。

社内のPCだと一般的にWindowsなどのOSやアプリケーションを最新状態にして使うことが多い。レンタルPCの場合、希望すれば最新版へアップデートして出荷することも可能なので、納品後のアップデート作業が省けるメリットがある。

タマヤではレンタルPC以外に自社でも利用するため、マウスコンピューターのPCを6台購入した。主にデザイン制作の部署で、Webサイトの制作や画像処理などのためにPhotoshopやIllustratorなどを使うクリエイティブ業務での利用が中心だ。性能が高く、画像処理などに向いている点は業務での利用にも適しているという。

レンタル用や業務用に導入したマウスコンピューターのPCに不満は感じていないと話す松田氏だが、今後の商品開発については「小型化・軽量化をどんどん進めてほしい」という。高性能PCやゲーミングPCは、どうしても本体のサイズが大きくなりがちだが、レンタルの場合は箱に入れて輸送する手間がかかるため、顧客の立場を考えると少しでも小型で軽量な方が扱いやすいというのだ。

タマヤはこれからもPCのレンタル市場を拡大し、「お客様のお役に立ち、喜んでいただける会社」をモットーに事業を展開していく。



G-Tune XP-Z (2022年10月モデル)

OS:Windows 11 Home 64ビット (DSP)
 CPU:インテル Core i7-13700KF プロセッサー
 グラフィックス:GeForce RTX 4090
 メモリー標準容量:64GB (32GB×2 / デュアルチャネル)
 M.2 SSD:2TB (NVMe Gen4×4)
 ハードディスク:4TB
 ドライブ仕様:DVDスーパーマルチドライブ (スロットイン)
 電源:1000W【80PLUS PLATINUM】
 ※タマヤでは2021年5月モデルを導入、カスタマイズにて構成変更



DAIV 5N (標準構成 2022年7月モデル)

OS:Windows 11 Home 64ビット
 CPU:インテル Core i7-12700H プロセッサー
 グラフィックス:GeForce RTX 3060 Laptop GPU
 メモリー標準容量:32GB (16GB×2 / デュアルチャネル)
 M.2 SSD:512GB (NVMe)
 パネル:15.6型 液晶パネル (ノングレア)
 動作時間 (標準バッテリー使用時最大):約7時間
 本体重量:約2.07kg
 ※タマヤでは2021年10月モデルを導入、カスタマイズにて構成変更

The screenshot shows the mouse After-Support Center website. At the top, there are navigation links for '初めての方へ', 'ご利用ガイド', 'メルマガ登録', '企業情報', '店舗情報', and 'お問い合わせ'. The main header features the mouse logo and 'アフターサポート 24時間365日'. Below this, there are icons for 'LINE mouse お客様サポート', 'AIチャット', and '問い合わせフォーム'. A central banner reads 'アフターサポートセンターへようこそ' with a '24h 365d' icon and states 'トラブルやお困りごとを24時間365日サポート、72時間以内で修理。' Below the banner, there are several links for 'FAQ検索でお悩み解決!', 'ドライバ・マニュアルダウンロード', '故障診断・修理', 'ディスプレイ延長保証のお申込み', '回収・リサイクル買取サービス', 'お問い合わせ', and 'my mouse [ログイン]'.

マウスコンピューターのアフターサポートは、24時間365日受付。電話をかけた際の待ち時間や修理を依頼した際の作業日数なども、リアルタイムで状況を知ることができる

法人のお客様 お問い合わせ

TEL 03-6636-4323

FAX 03-6739-3821

■受付時間

平日 9時～12時/13時～18時

土日祝 9時～20時